
12th feel forest

遍駈羽御

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

1 2 t h f e e l f o r e s t

【Nコード】

N 3 5 7 3 Z

【作者名】

遍 駆 羽 御

【あらすじ】

1 2 t h f e e l f o r e s t 宜しくです。

feel forest

詩：遍駆 羽御

君の手を手放して 僕は違う道を歩む

君は白い服を着て明るい道に行く

君の冤罪を僕が引き継ごう さあ 僕を裁くといい

ただし 僕は誰にも裁けない

君を想い出す度に胸を押さええて 地面を力強く拳で叩いた
握っていた拳から血が流れ落ちる

涙を流そうとしない僕を哀れんだ天が涙を流す

長い髪を振り乱し 邪念を洗い流そうとする

この心の痛みは消えてはくれない

どうして こんなに君を愛してしまうの

もう 交わらない温もりを求めてる

鳥が鳴く森で僕は 君の写真を撮った

季節は六月で同じだねって……声がする

君の笑顔をロケットごと さあ 地面に埋めてしまおう

歯を 食い縛って過去を殺す

スコップを投げ出して去ろう そう思っているのに立ち尽くす
未練がましさなの？ 自問自答は

雨の音に掻き消されてだけど そんな優しさ要らない！

長い髪を振り乱し 邪念を洗い流そうとする

この心の痛みは消えてはくれない

どうして こんなに君を愛してしまっの

もう 交わらない温もりを思い出す

君の手を手放して 僕は違う道歩む

君は白い服を着て明るい道行く

君の冤罪を僕が引き継ごう さあ 僕を裁くといい

ただし 僕は誰にも裁けない

裁けるのはこの静かな森とそこに眠るくちづけをした記憶

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3573z/>

12th feel forest

2011年12月12日04時00分発行